

6 専従休職者の給与

○ 概 要

職員団体の業務にもつぱら従事している期間（専従許可が効力を有する間）は休職者とし、いかなる給与も支給されない。

○関係法令

地公法

（職員団体のための職員の行為の制限）

第55条の2 職員は、職員団体の業務にもつぱら従事することができない。ただし、任命権者の許可を受けて、登録を受けた職員団体の役員としてもつぱら従事する場合は、この限りでない。

—（略）—

5 第1項ただし書の許可を受けた職員は、その許可が効力を有する間は、休職者とし、いかなる給与も支給されず、また、その期間は、退職手当の算定の基礎となる勤続期間に算入されないものとする。

給与条例

（専従休職者の給与）

第19条の2 法第55条の2第1項ただし書の許可を受けた職員には、その許可が効力を有する間は、いかなる給与も支給しない。